



平成30年度

第1回「千葉県安全性向上プロジェクト委員会」

～事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）～

平成31年3月1日

国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所 交通対策課
千葉県 県土整備部 道路環境課
千葉市 建設局 土木部 土木保全課

－ 目 次 －

1. これまでの取組み
 - ① これまでの取組み
 - ② 事故ゼロプランの概要
 - ③ 事故ゼロプランの目標
 - ④ 千葉県内の交通事故発生状況
2. 対策実施区間のフォローアップ結果
 - ① 事業進捗状況
 - ② 対策実施区間の事例
 - ③ 対策工種別の対策効果
3. 事故危険区間の更新について
 - ① 事故危険区間リストの更新
 - ② 代表区間の更新
4. 今後の取組み
 - ① 代表区間における取組方針
 - ② 生活事故の交通安全対策について
5. 道路安全診断(試行)の報告

1. これまでの取組み

- ① これまでの取組み
- ② 事故ゼロプランの概要
- ③ 事故ゼロプランの目標
- ④ 千葉県内の交通事故発生状況

1. これまでの取組み ①これまでの取組み

これまでの取組み

- 平成17年度に千葉県安全性向上プロジェクト委員会を設立し、これまで計17回の会議を開催。
- 平成22年度以降に「事故ゼロプラン」が推進され、平成22年度には箇所選定、平成23年度からは対策の進捗確認・リスト更新等を実施。
- 平成25年度には削除ルールの変更等を実施。

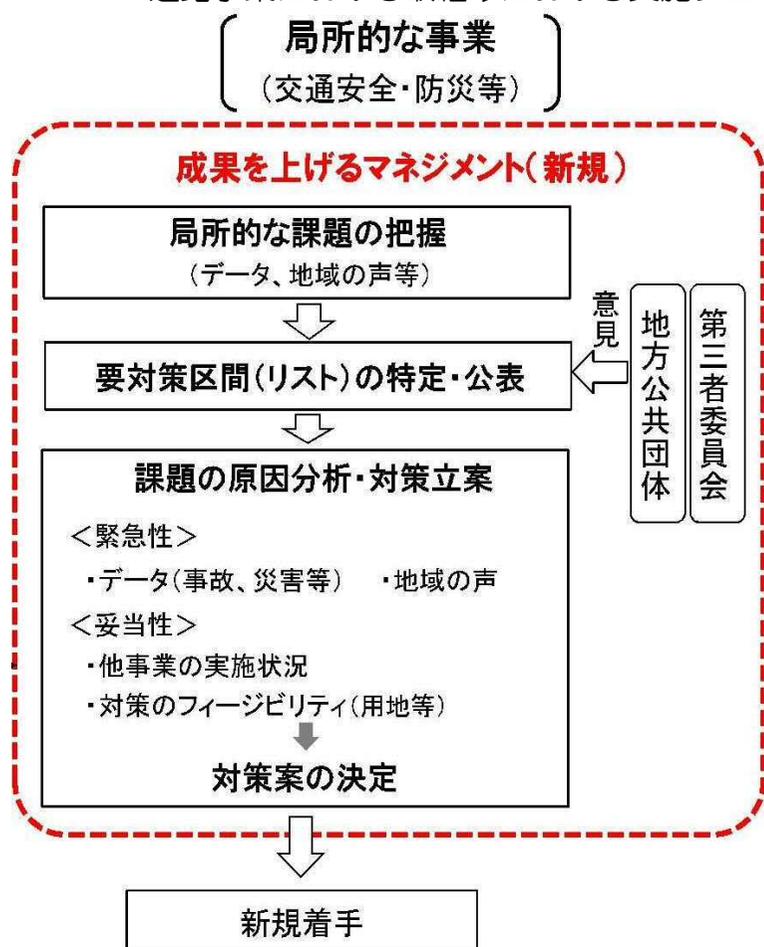
■「千葉県安全性向上プロジェクト委員会」の開催経緯

年度	回	開催日	内容
H17	第1回	H17.11.21	委員会設立、対策箇所候補の提示
	第2回	H17.12.16	対策箇所の選定、パブコメ実施について
	第3回	H18.3.30	対策箇所の対策案提示
H19	第1回	H19.6.18	対策箇所の進捗報告、新たな対策箇所の考え方
	第2回	H19.8.8	対策箇所の進捗公表、新たな対策箇所選定の考え方
	第3回	H19.12.21	対策箇所の進捗報告、新たな対策箇所の選定
H22	第1回	H22.11.5	取組確認、事故ゼロプランの紹介、箇所抽出基準、パブコメ実施について
	第2回	H22.12.10	取組確認、事故ゼロプラン箇所の選定、選定箇所の事例紹介
H23	第1回	H23.12.14	取組確認、目標設定、リスト更新の考え方
	第2回	H24.3.16	事故ゼロプランのリスト更新、フォローアップ報告
H24	第1回	H25.2.28	これまでの取組み確認、対策実施区間のフォローアップ結果報告、事故危険区間の更新審議、取組紹介について
H25	第1回	H26.3.4	これまでの取組確認、対策実施区間のフォローアップ結果報告、対策工種別の対策効果、事故危険区間の更新審議、削除ルールの変更、削除候補区間の選定、道路安全診断の導入
H26	第1回	H27.3.3	これまでの取組確認、対策実施区間のフォローアップ結果報告、対策工種別の対策効果、事故危険区間の更新審議、削除ルールの変更、削除候補区間の選定、道路安全診断の導入
H27	第1回	H27.12.18	これまでの取組確認、生活道路の安全対策の必要性の審議、生活道路の重点対策エリア(案)の抽出方法の審議、生活道路の重点対策エリア(案)の審議
	第2回	H28.3.24	これまでの取組確認、対策実施区間のフォローアップ結果報告、事故危険区間の更新審議、ETC2.0データを活用した事故分析について紹介、事故危険区間の削除ルール改定(案)の審議
H28	第1回	H29.3.15	これまでの取組確認、対策実施区間のフォローアップ結果報告、対策工種別の対策効果、事故危険区間の更新審議、削除候補区間の選定、道路安全診断(試行)の報告
H29	第1回	H30.3.23	これまでの取組確認、対策実施区間のフォローアップ結果報告、対策工種別の対策効果、事故危険区間の更新審議、削除候補区間の選定、道路安全診断(試行)の報告

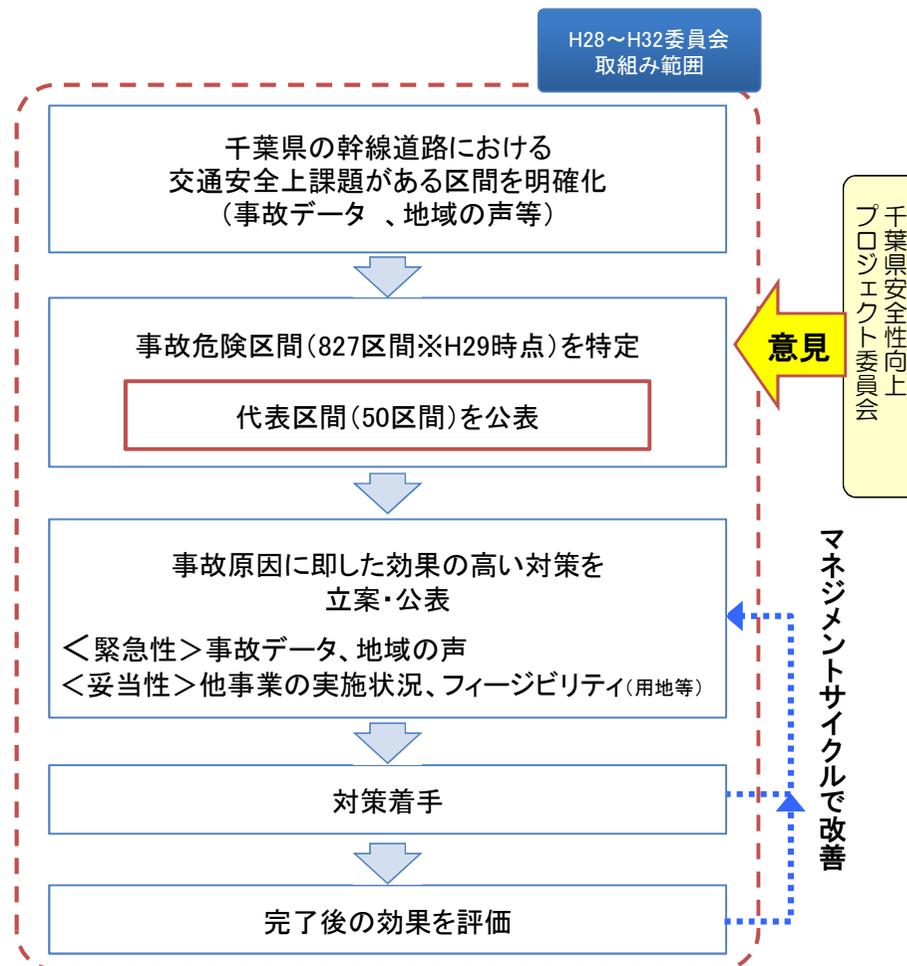
事故ゼロプランの概要

- 平成22年8月に、交通安全等の局所的な事業にも政策目標型事業評価が導入され、『事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）』としての取り組みを開始。
- 平成22年度の委員会にて『新たな交通安全課題箇所（事故危険区間）』を選定し、平成23年度以降は対策を推進するとともに、事故危険区間リストの更新ルールの策定及びリスト更新を実施。
- 平成28年度から『事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）』は2巡目（平成28年度～平成32年度）に入り、今年度も引き続き推進。

■政策目標評価型事業評価の導入に係る道路事業における取組みにおける実施フロー



■千葉県安全性向上プロジェクト委員会における実施フロー



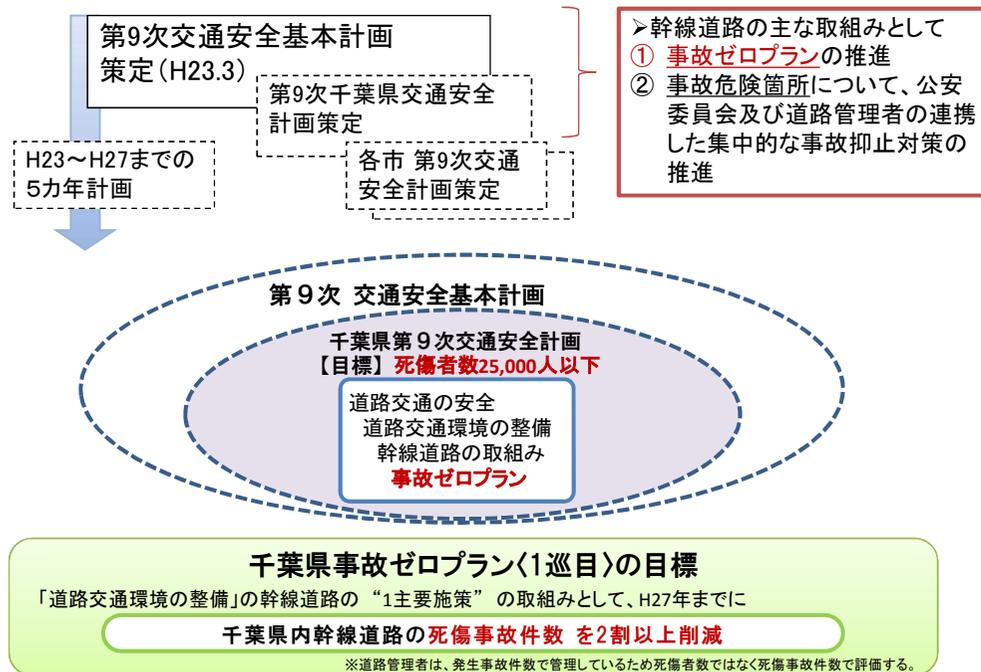
※政策目標評価型事業評価の導入に係る道路事業における取組みについて（平成22年8月国土交通省記者発表資料）より作成

1. これまでの取組み ③事故ゼロプランの目標

事故ゼロプランの目標達成状況（千葉県第9次交通安全計画：H22～H27）〈1巡目〉

- 事故ゼロプランはH23.3に策定され、第9次交通安全基本計画の中で幹線道路における交通安全対策の主な取組みとして位置付け、「PDCAサイクルの推進」と「地域連携」を基本戦略として取組みを実施。
- 事故ゼロプランは、千葉県第9次交通安全計画に包括されていることから、当該計画の目標であった死傷者数25,000人以下に合わせて、H27年までに「県内幹線道路の死傷事故件数 2割以上削減」を目標に設定。（目標値/H22：10,240件→H27までに：8,192件）
- 千葉県内幹線道路の死傷事故件数の実績値は、H27：7,531件（約26%削減）となり、当該計画の目標を達成。

■第9次交通安全基本計画（前計画）における事故ゼロプラン〈1巡目〉の目標設定



■事故ゼロプランの目標達成状況

●千葉県内の幹線道路における死傷事故件数



千葉県内幹線道路の死傷事故件数の実績値(H22～H27)と当初目標

※出典：各年の交通事故統計年報 道路種類別発生件数・都道府県道以上の幹線道路の事故件数

死傷者数あたりに換算した場合

県内事故の1件あたりの死傷者：1.25人/件(H22事故)※ ⇒ 死傷事故を1件削減することで1.25人の死傷者を削減
死傷事故件数2割(20%)削減 → 死傷者数25%削減

千葉県第9次交通安全計画の目標値に相当

1件の死傷事故で、1.25人の死傷者が発生！



※出典：交通事故統計年報(平成22年版)
千葉県内におけるH22年中の死傷者数及び死傷事故件数から算出

1. これまでの取組み ③事故ゼロプランの目標

事故ゼロプラン〈2巡目〉の目標達成状況（千葉県第10次交通安全計画：H28～H32）

- 事故ゼロプラン〈2巡目〉は、千葉県第10次交通安全計画に包括されており、この計画の中で掲げる平成32年度までに県内の死傷者数を18,000人以下とする目標に合わせて、「**県内幹線道路の死傷事故件数 2割以上削減**」を目標に設定する。
〔千葉県内全道路の死傷者数 H27:23,442人→H32:年間18,000人以下（23%減）〕
- 千葉県内幹線道路の死傷事故件数の実績値はH27:7,531であるため、H32:6,024件まで削減を目標に設定〔H28:7,302件（H27より約3%減）〕

■死傷事故の現状と削減目標

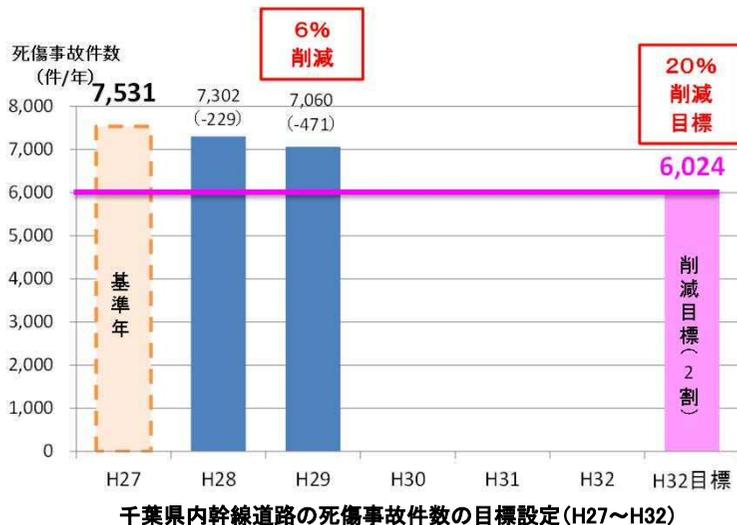
●千葉県第10次交通安全計画の目標値

- H27年度の千葉県内における交通事故死傷者数は、**23,442人**
- 千葉県第10次交通安全計画の目標では、H32年度までに、交通事故死傷者数を**18,000人以下**に削減する（約23%減）

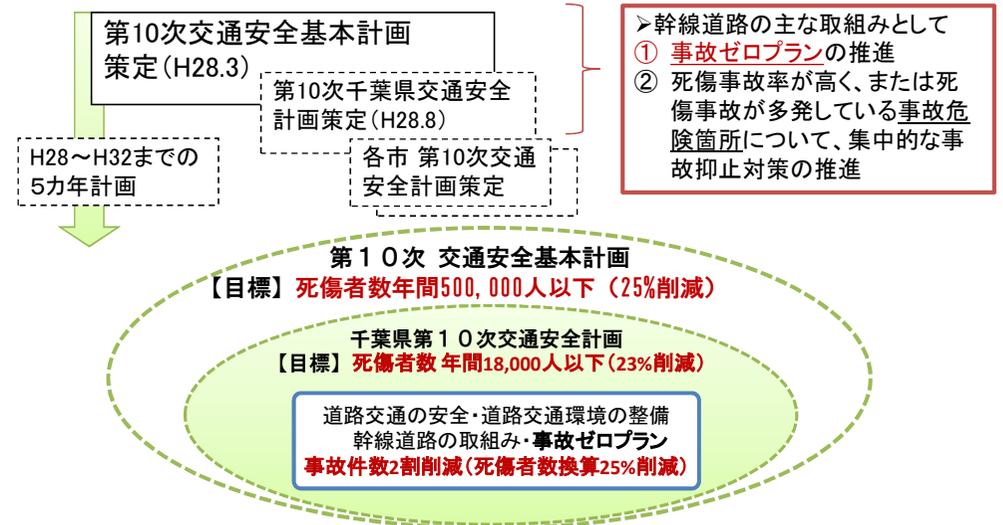
●事故ゼロプラン〈2巡目〉における目標設定

- 県内幹線道路の死傷事故件数を **2割以上削減**
- H27年度の千葉県内の幹線道路における死傷事故件数は、7,531件であったため、H27年度を基準年として、H32年度までに千葉県内の幹線道路における死傷事故件数を**6,024件**まで削減する

※約25%死傷者数減少に相当



■第10次交通安全基本計画における事故ゼロプラン〈2巡目〉の目標設定



千葉県事故ゼロプラン〈2巡目〉の目標

道路交通安全対策の一環とし、第3の柱である「道路交通環境の整備」の取組みを実施し、H32年までに

千葉県内の幹線道路の死傷事故件数を2割以上削減

※道路管理者は、発生事故件数で管理しているため死傷者数ではなく死傷事故件数で評価する。

死傷者数あたりに換算した場合

県内事故の1件あたりの死傷者:1.25人/件(H27事故)※ ⇒ 死傷事故を1件削減することで1.25人の死傷者を削減
死傷事故件数2割(20%)削減 → 死傷者数25%削減

千葉県第10次交通安全計画の目標値に相当

1件の死傷事故で、1.25人の死傷者が発生!



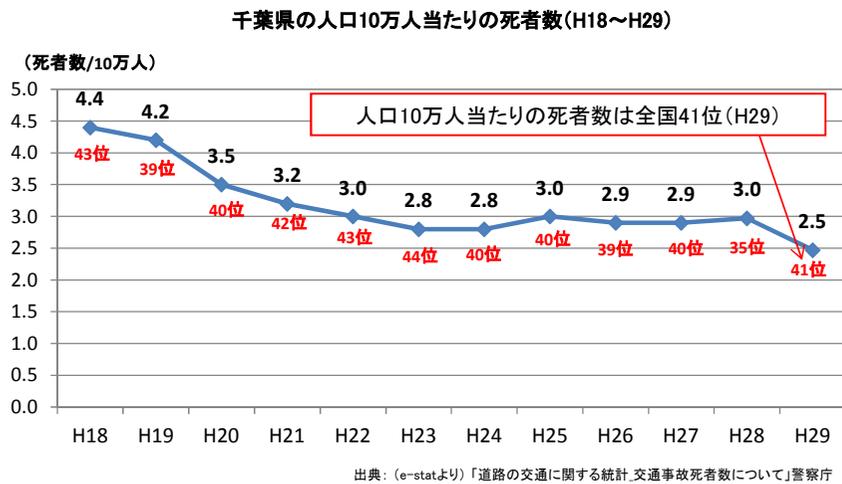
※出典: 交通事故統計年報(平成27年版)
千葉県内におけるH27年中の死傷者数及び死傷事故件数から算出

1. これまでの取組み ④千葉県内の交通事故発生状況

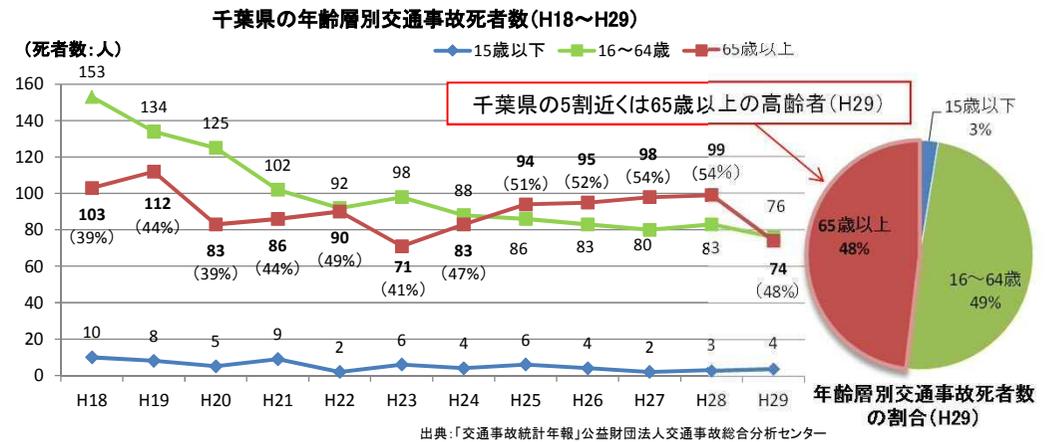
千葉県内の交通事故発生状況(最新)

- 千葉県内の交通事故死者数は近年横ばい傾向にあり、千葉県の人口10万人当たりの死者数では全国41位。(千葉県の交通事故死者数は全国で5位)
- 年齢層別交通事故死者数の内訳は、65歳以上の高齢者が約5割を占める。県内の交通事故の特徴は、幹線道路と比べて生活道路で発生している割合が高い。
- 高齢者や生活道路への事故対策が重要となる。

■千葉県の交通事故死者数の発生状況

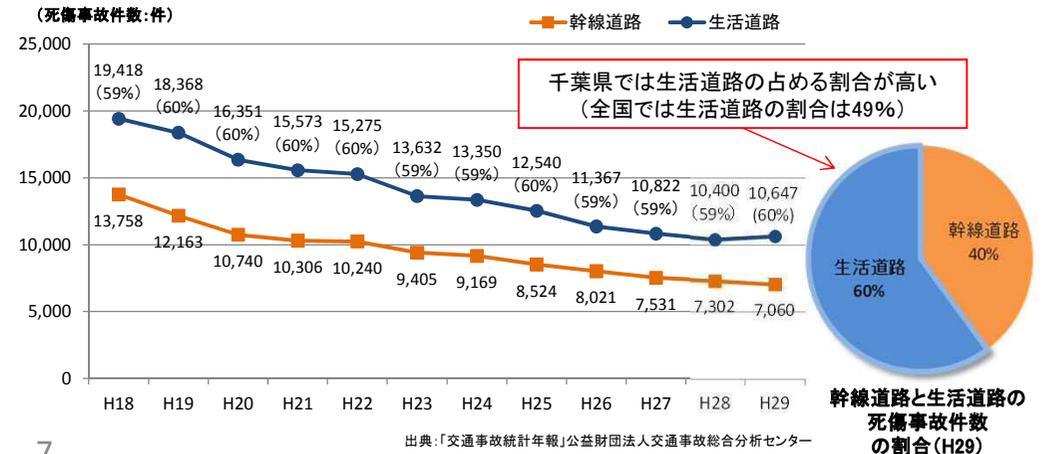
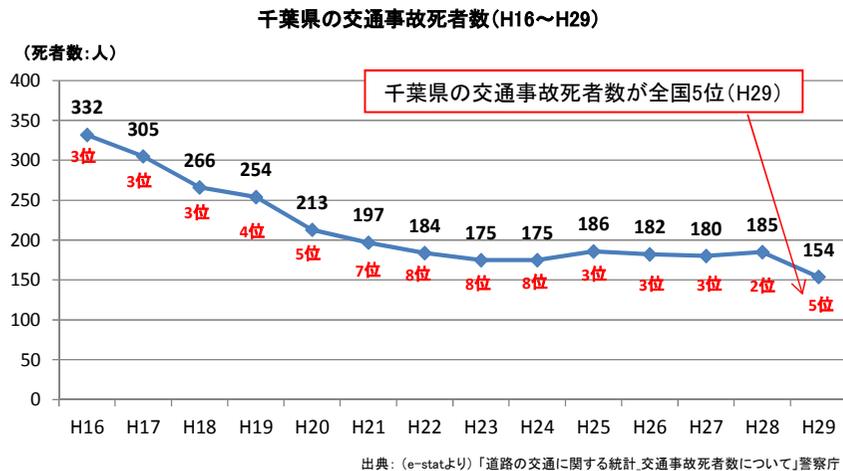


■千葉県の年齢層別交通事故死者数の発生状況



■千葉県の幹線道路と生活道路の死傷事故の発生状況

- 幹線道路事故: 一般国道、主要地方道、一般県道で発生した交通事故
 - 生活道路事故: 一般市町村道、道路運送法の道路、農道、林道、港湾道、私道、その他で発生した交通事故
- 千葉県内の幹線道路と生活道路の死傷事故件数(H18~H29)



2. 対策実施区間のフォローアップ結果

- ① 事業進捗状況
- ② 対策実施区間の事例
- ③ 対策工種別の対策効果

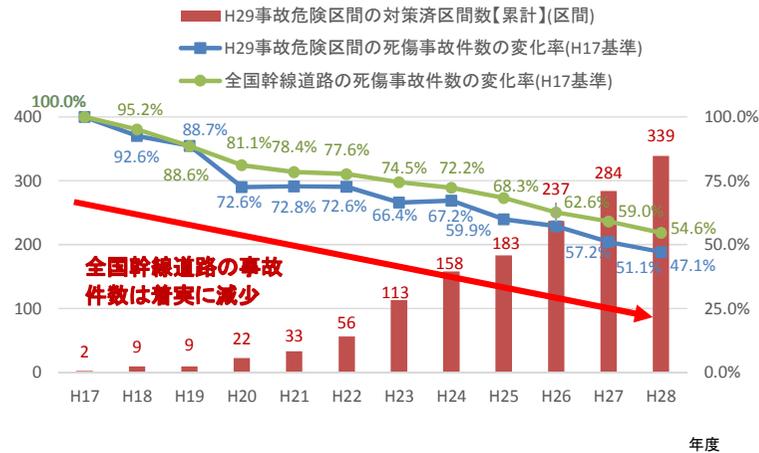
2. 対策実施区間のフォローアップ結果 ①事業進捗状況

事業進捗状況

- 事故危険区間の死傷事故件数のH17年基準に対する減少率は、全国幹線道路と比較して大きい。
- 事故危険区間において、H27年までに対策を実施(完了)した区間では、死傷事故件数が25%減少。
- 代表区間50区間のうち、約6割が工事完了、約2割がH31年度以降に着工予定。(H31.3時点(予定))

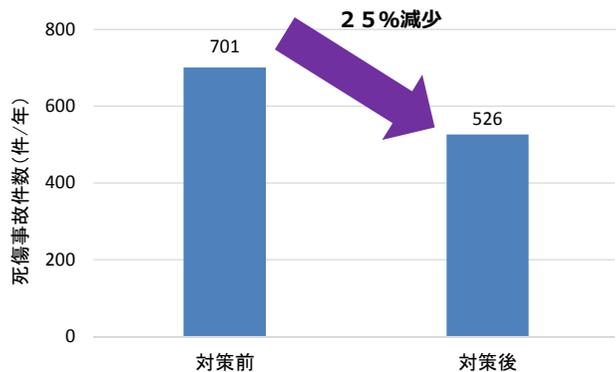
H29事故危険区間 (827区間)

■H29事故危険区間の死傷事故件数等の推移



※全国幹線道路の死傷事故件数の出典：「交通事故統計年報」公益財団法人交通事故総合分析センター

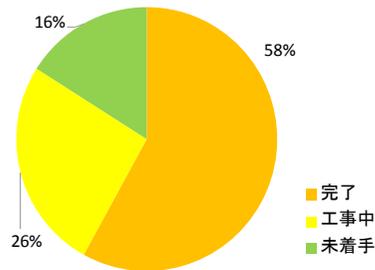
■H29事故危険区間における対策実施区間の対策効果



H27までに対策を実施(完了)した284区間の対策効果
(対策前:対策4年前~対策1年前の年平均、対策後:対策1年後~対策4年後の年平均)

■代表区間の対策進捗状況

- 完了:29箇所
- 工事中:13箇所
- 未着手:8箇所



完了はH31.3月で完了予定のものを含む
工事中は工事開始しているがH31.3以降完了予定
未着手はH31年度以降に着工予定又は未定

H29代表区間 (50区間)

■代表区間の一覧

H28年度に選定した代表区間(37区間)

No	路線名	対象区間(地先名)	交差点名	管理主体	事故件数等の指標	選定の視点 事故内容の指標	安全性による指標
1	国道6号	松戸市松戸	松戸隧道交差点	国	●	●	●
2	国道6号	松戸市松戸	陣ヶ前交差点	国	●	●	●
3	国道6号	流山市松ヶ丘3丁目305-8~1丁目455-50		国	●	●	●
4	国道6号	松戸市胡録台		国	●	●	●
5	国道6号	松戸市南花島2丁目32		国	●	●	●
6	国道6号	我孫子市青山872		国	●	●	●
7	国道14号	千葉市美浜区幸町2丁目		国	●	●	●
8	国道16号	柏市松ヶ崎	柏警察署入口交差点	国	●	●	●
9	国道16号	袖ヶ浦市神納	袖ヶ浦インター入口	国	●	●	●
10	国道16号	木更津市舘西	木更津袖ヶ浦線交差点	国	●	●	●
11	国道16号	八千代市村上	村上交差点	国	●	●	●
12	国道16号	千葉市中央区村田町	浜野駅西側交差点	国	●	●	●
13	国道16号	千葉市中央区星久喜町		国	●	●	●
14	国道16号	八千代市島田台	島田台交差点	国	●	●	●
15	国道16号	君津市坂田	大和田交差点	国	●	●	●
16	国道16号	富津市大堀	大堀地下交差点	国	●	●	●
17	国道51号	印旛郡酒々井町伊篠		国	●	●	●
18	国道51号	千葉市中央区本町1丁目		国	●	●	●
19	国道126号	八街市山田台	沖入口交差点	国	●	●	●
20	国道127号	安房郡鋸南町勝山		国	●	●	●
21	国道357号	習志野市秋津	秋津交差点	国	●	●	●
22	国道128号	茂原市高師台	高師交差点	県	●	●	●
23	国道128号	茂原市高師1700-1番地		県	●	●	●
24	国道356号	香取市大戸84-5番地		県	●	●	●
25	国道409号	八街市八街ほ31	一区交差点	県	●	●	●
26	主要地方道 我孫子関宿線	柏市布施814-14~柏市横戸475-8		県	●	●	●
27	主要地方道 船橋我孫子線	我孫子市若松20-3番地	我孫子市若松交差点	県	●	●	●
28	主要地方道 船橋松戸線	船橋市本町7丁目	船橋駅北口十字路交差点	県	●	●	●
29	主要地方道 市原茂原線	市原市姉ヶ崎708~660-1		県	●	●	●
30	主要地方道 千葉鎌ヶ谷松戸線	松戸市五香2-2-11~2-16-1		県	●	●	●
31	一般県道 四街道上志津線	佐倉市上志津		県	●	●	●
32	一般県道 西浦安停車場線	浦安市入船1丁目1番地先	入船交差点	県	●	●	●
33	主要地方道 千葉大網線	千葉市緑区菅田2丁目	菅田インター交差点	市	●	●	●
34	主要地方道 千葉大網線	千葉市緑区土気町	土気駅北口交差点	市	●	●	●
35	主要地方道 千葉大網線	千葉市緑区越智町	越智はなみずき台入口交差点	市	●	●	●
36	市道 塩田町豊田町線	千葉市中央区生実町	生実地交差点	市	●	●	●
37	市道 東寺山町山王町線	千葉市稲毛区長沼原町	遠近五差路	市	●	●	●

H29に追加した代表区間(13区間)

No	路線名	対象区間(地先名)	交差点名	管理主体	事故件数等の指標	選定の視点 事故内容の指標	安全性による指標
38	国道6号	我孫子市台田	台田交差点	国	●	●	●
39	国道16号	千葉市若葉区加曾利町	加曾利交差点	国	●	●	●
40	国道16号	千葉市花見川区横戸町1178	(仮称)横戸町馬橋付近交差点	国	●	●	●
41	国道16号	柏市藤ヶ谷新田21	(仮称)藤ヶ谷新田地区交差点	国	●	●	●
42	国道51号	成田市花崎町	京成成田駅入口交差点	国	●	●	●
43	国道357号	千葉市中央区関屋町2	(仮称)神明歩道橋交差点	国	●	●	●
44	国道409号	木更津市巾島		国	●	●	●
45	国道126号	匝瑳市八日市場水74番地~水102番地		県	●	●	●
46	国道356号	銚子市芦崎町623-2番地~芦崎90		県	●	●	●
47	主要地方道 佐原八日市場線	香取市助沢706番地		県	●	●	●
48	主要地方道 五井本納線	市原市辰巳台東5丁目-11		県	●	●	●
49	一般県道 茂原環状線	茂原市谷本		県	●	●	●
50	主要地方道 千葉川上八街線	千葉市若葉区金網町	金網町交差点	市	●	●	●

2. 対策実施区間のフォローアップ結果

<参考>ポアソン検定による対策効果判定

■ポアソン検定による事故発生状況の評価（※H22年度から採用）

- 交通事故は偶発的に不定期に発生しており、一定期間(数ヶ月, 数年)における発生件数はポアソン分布に従うとされる。
- この仮定に基づき「対策効果の有無の判定誤差が5%以内(両側検定)に収まる対策実施前後の件数」を用いて異常な発生の有無を判定する。
- 単位時間中に平均でλ回発生する事象がちょうど k 回(k は0を含む自然数、k = 0, 1, 2, ...)発生する確率は、次式で表される。

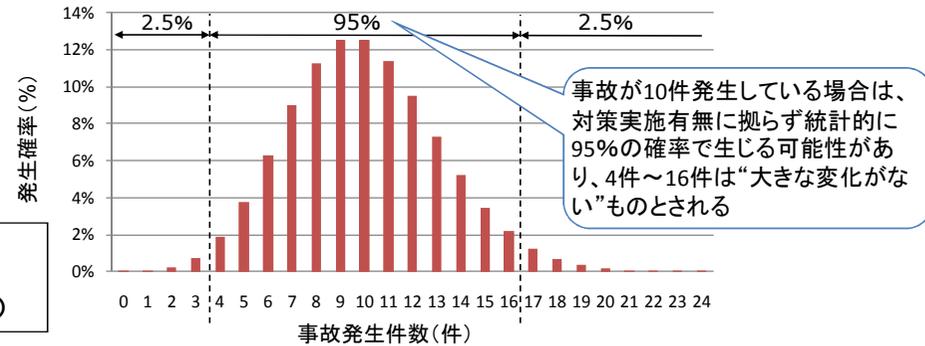
ポアソン分布の確率関数

$$P(N = k) = \frac{e^{-\lambda} \lambda^k}{k!}$$

ポアソン検定(有意水準5%範囲)

- ; 累積 2.5%以下→事故が減少と判定
- ; 累積 97.5%以上→事故が増加と判定

死傷事故が10件発生している箇所(λ=10)のポアソン分布



		対策後の事故発生件数													
		0件	1件	2件	3件	4件	5件	6件	7件	8件	9件	10件	11件	12件	13件
対策前の事故発生件数	1件	36.8%	73.6%	92.0%	98.1%	99.6%	99.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	2件	13.5%	40.6%	67.7%	85.7%	94.7%	98.3%	99.5%	99.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	3件	5.0%	19.9%	42.3%	64.7%	81.5%	91.6%	96.6%	98.8%	99.6%	99.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	4件	1.8%	9.2%	23.8%	43.3%	62.9%	78.5%	88.9%	94.9%	97.9%	99.2%	99.7%	99.9%	100.0%	100.0%
	5件	0.7%	4.0%	12.5%	26.5%	44.0%	61.6%	76.2%	86.7%	93.2%	96.8%	98.6%	99.5%	99.8%	99.9%
	6件	0.2%	1.7%	6.2%	15.1%	28.5%	44.6%	60.6%	74.4%	84.7%	91.6%	95.7%	98.0%	99.1%	99.6%
	7件	0.1%	0.7%	3.0%	8.2%	17.3%	30.1%	45.0%	59.9%	72.9%	83.0%	90.1%	94.7%	97.3%	98.7%
	8件	0.0%	0.3%	1.4%	4.2%	10.0%	19.1%	31.3%	45.3%	59.3%	71.7%	81.6%	88.8%	93.6%	96.6%
	9件	0.0%	0.1%	0.6%	2.1%	5.5%	11.6%	20.7%	32.4%	45.6%	58.7%	70.6%	80.3%	87.6%	92.6%
	10件	0.0%	0.0%	0.3%	1.0%	2.9%	6.7%	13.0%	22.0%	33.3%	45.8%	58.3%	69.7%	79.2%	86.4%
	11件	0.0%	0.0%	0.1%	0.5%	1.5%	3.8%	7.9%	14.3%	23.2%	34.1%	46.0%	57.9%	68.9%	78.1%
	12件	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.8%	2.0%	4.6%	9.0%	15.5%	24.2%	34.7%	46.2%	57.6%	68.2%

⇒事故が減少したと判定

「事故が増加した」と判定(97.5%以上)
⇒追加対策を検討

「事故が減少した」と判定(2.5%以下)
⇒経過観察、卒業候補

⇒事故は減少していないと判定

国道16号 市役所入口交差点

箇所概要

【場所】市原市五井海岸
市役所入口交差点
【路線】国道16号

【日交通量】42,007台/日
【対策年】H24.3
【センサス番号※】12300160520
※H27センサス基本区間番号



事故発生状況および危険因子

事故の特徴

【事故発生状況(事故要因)】

- ①(右折)交差点間隔が短いため、直進車の信号変わり目での無理な進行や右折を急ぐ車両の無理な右折が生じやすいため、右折事故が発生する。
- ②(追突)交差点間隔が短いため、直進車の信号変わり目での無理な進行が生じやすく、赤信号で停止する車両と無理な進行をする車両の意識のギャップが生じることで追突事故が発生する。

【対策方針】

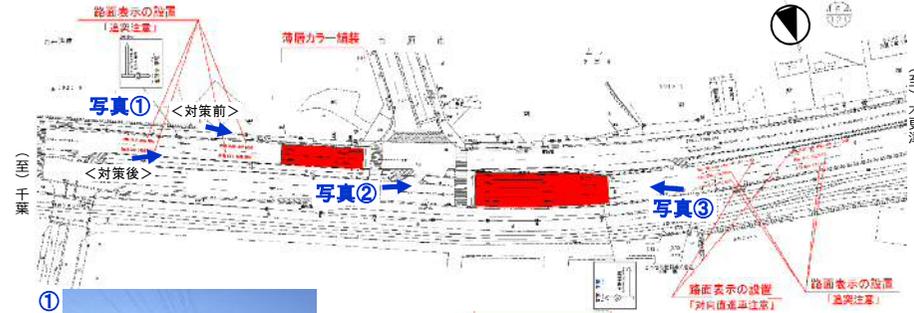
- ①(右折)右折時には対向車がいることを注意喚起する。
- ②(追突)追突に注意が必要であることをアナウンスするとともに薄層カラー舗装により交差点であることを強調する。

対策前 (H19~H22)



対策内容

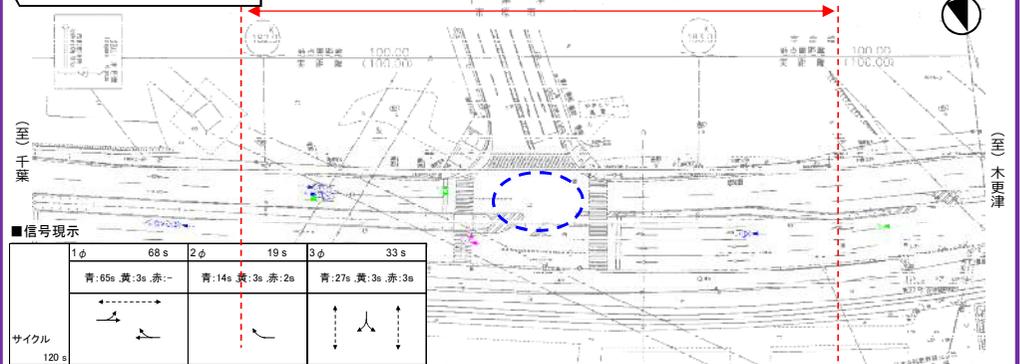
【対策】(右折事故対策)路面表示「対向直進車注意」、右折指導線設置 →H24年3月完了
 (追突対策)路面表示「追突注意」、薄層カラー舗装 →H24年3月完了



対策効果

対策効果
 (対策完了後) 全事故件数が10件 → 7件/4年 (30%減少)
 追突事故が5件/4年 → 4件/4年 (20%減少)
 右折事故が5件/4年 → 0件 (100%減少)
 横断中事故が0件/4年 → 2件/4年

対策完了後 (H25~H28)



右折事故対策による右折事故の減少が大きく発現している。(ポアソン判定で効果あり)
 横断中事故が新たに2件発生しているがポアソン分布の範囲内である。

2. 対策実施区間のフォローアップ結果 ②対策実施区間の事例2

国道16号（仮称）沼南体育館前交差点

箇所概要

【場所】 柏市藤ヶ谷
（仮称）沼南体育館前交差点
【路線】 国道16号

【日交通量】 42,415台/日
【対策年】 H24.2
【センサス番号※】 12300160120
※H27センサス基本区間番号



事故発生状況および危険因子

事故の特徴

【事故発生状況(事故要因)】

- ①(交差点流入部追突) 町道509号線が斜め交差し広大な交差点となっているため、停止線が分かり難く、また、上下線とも見通しの良い直線区間による速度超過により、追突事故が発生している。
- ②(上り線流出部沿道出入関連事故) 交差点付近には沿道施設が多く、出入り口の視認性が悪いため出入り口車両が見えにくく、入り車両の急減速に対して、後続車の追突事故が発生している。

【対策方針】

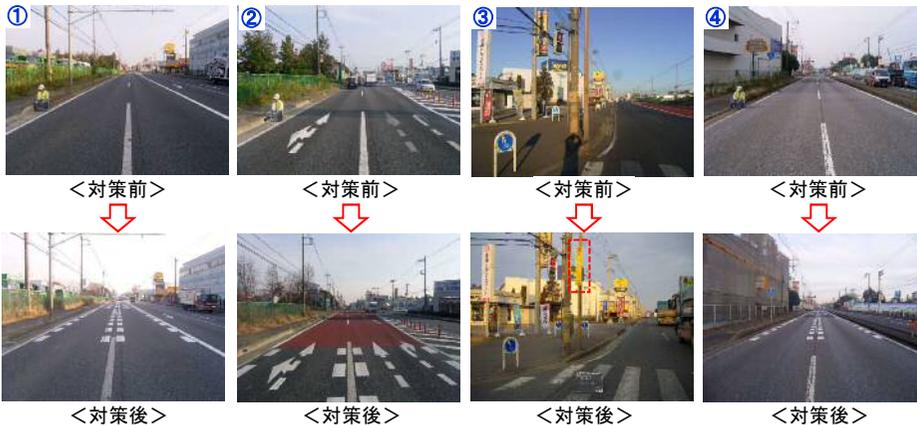
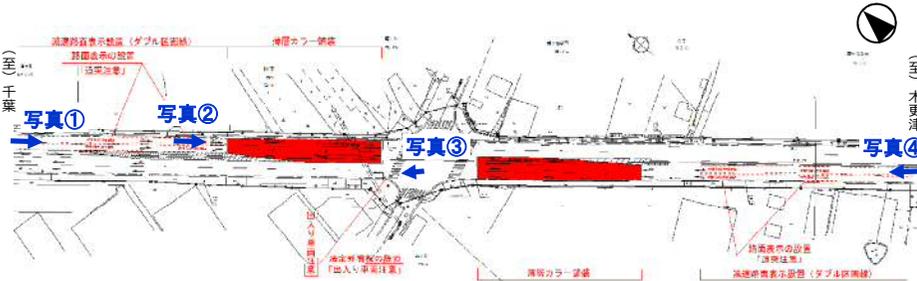
- ①(交差点流入部追突) 注意を喚起し前方車両の挙動の変化に対応できるようにする。速度を抑制し停止しやすくする。
- ②(上り線流出部沿道出入関連事故) 出入り車両があることをアナウンスし注意を促す。

対策前 (H19～H22)



対策内容

【対策】(流入部追突対策) 路面表示「追突注意」、減速路面表示、薄層カラー舗装 ⇒H24年2月完了
 (下り線流出部追突対策) 法定外標識「出入り車両注意」 ⇒H24年2月完了

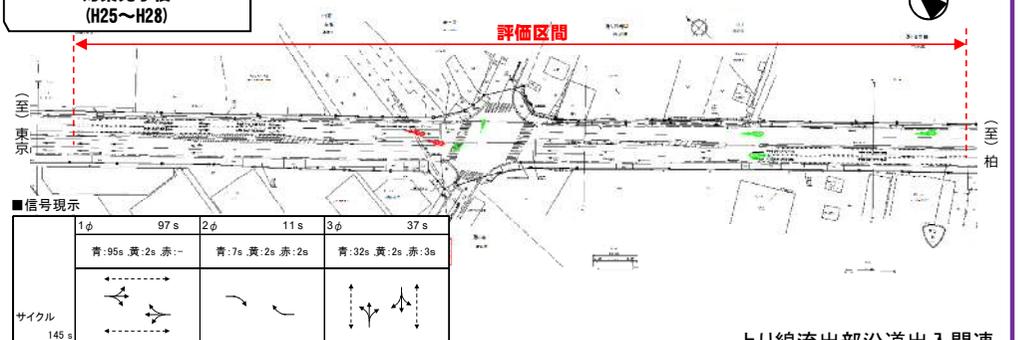


対策効果

対策効果

(対策完了後) 全事故件数が15件 → 7件/4年 (47%減少)
 交差点流入部追突事故が6件/4年 → 2件/4年 (67%減少)
 上り線流出部沿道出入関連事故が3件/4年 → 0件 (100%減少)

対策完了後 (H25～H28)



流入部追突事故、上り線流出部沿道出入関連事故ともに減少しており効果が確認できる。舗装の痛みやカラー舗装のすり減りが見受けられるので、舗装打ち変えにあわせてカラー舗装や路面表示の補修を実施し事故対策効果を継続的に発現させていく。 ※ボアソン判定非該当

2. 対策実施区間のフォローアップ結果 ③対策工種別の対策効果

【参考】対策工種別の対策効果(事故データ)

- 千葉国道事務所管内の交通安全対策箇所について、対策工種別の対策効果を整理した。
- 代表的な下記工種（14種類）のうち、**11種類の対策工種（表中★）**においては、**事故対策前後の死傷事故件数がポアソン検定より減少**と判断が可能である。
- 他の3種類の対策工種についても、死傷事故件数は減少しており、今後も経過観察を行なう。

事故 類型	交通安全対策	評価 箇所数	死傷事故件数(件/4年)					1箇所当たりの死傷 事故件数(件/4年・箇所)			事故が減少した 箇所数			事故が増加した 箇所数		
			対策前	対策後	増減	削減率	ポアソン 検定 (注)	対策 前	対策 後	増減	減少した 箇所数	ポアソン検 定で減少 した箇所 数	評価箇所 数に対する 割合	増加した 箇所数	ポアソン 検定で増 加した箇 所数	評価箇所 数に対する 割合
人対車両	1.交差点コンパクト化(横断歩道・停止線の前出し)	4箇所	4	1	-3	75%		1.0	0.3	-0.8	3	0	-	0	0	-
出会い頭	2.交差点コンパクト化(横断歩道・停止線の前出し)	19箇所	62	25	-37	60%	★	3.3	1.3	-1.9	16	3	16%	1	1	5%
	3.薄層カラー舗装	16箇所	46	17	-29	63%	★	2.9	1.1	-1.8	15	3	19%	1	1	6%
追突	4.減速路面標示	95箇所	568	296	-272	48%	★	6.0	3.1	-2.9	69	31	33%	18	5	5%
	5.法定外標識「追突注意」	75箇所	455	320	-135	30%	★	6.1	4.3	-1.8	53	17	23%	16	6	8%
	6.路面標示「追突注意」	233箇所	1,217	790	-427	35%	★	5.2	3.4	-1.8	157	47	20%	54	13	6%
	7.交差点コンパクト化(横断歩道・停止線の前出し)	45箇所	238	148	-90	38%	★	5.3	3.3	-2.0	29	8	18%	9	2	4%
	8.付加車線の新設・改良	4箇所	20	7	-13	65%	★	5.0	1.8	-3.3	3	1	25%	1	1	25%
	9.高視認性区画線	56箇所	284	197	-87	31%	★	5.1	3.5	-1.6	37	8	14%	11	2	4%
	10.薄層カラー舗装	85箇所	355	221	-134	38%	★	4.2	2.6	-1.6	58	13	15%	16	5	6%
左折時	11.交差点コンパクト化(横断歩道・停止線の前出し)	14箇所	28	20	-8	29%		2.0	1.4	-0.6	10	0	-	2	1	7%
	12.路肩の縮小	3箇所	15	11	-4	27%		5.0	3.7	-1.3	2	0	-	0	0	-
右折時	13.交差点コンパクト化(横断歩道・停止線の前出し)	38箇所	127	91	-36	28%	★	3.3	2.4	-0.9	23	4	11%	8	2	5%
	14.導流帯・指導線	133箇所	364	172	-192	53%	★	2.7	1.3	-1.4	99	19	14%	20	7	5%
	合計	820箇所	3,783	2,316	-1,467	-	-	4.6	2.8	-1.8	574	154	19%	157	46	6%
	平均	59箇所	270	165	-105	39%	-	4.6	2.8	-1.8	41	11	19%	11	3	6%

- ・上記は、個々の工種の対策効果の傾向であり、効果発現を約束するものではない
- ・今後も、個別箇所の現地状況に適した対策を選定することが重要

※1: 評価箇所数はイタルダ区間の方向別に集計(例:主道路上り線など)。
 ※2: 対策前に事故発生件数が0件の事故類型を除外。
 ※3: 同一箇所・方向で複数の工種が施工されている場合も含む。
 ※4: ()内はポアソン判定により効果の有無に該当した箇所数。

(注)ポアソン検定による死傷事故件数の増減傾向
 ポアソン検定により減少:★
 ポアソン検定により増加:▲

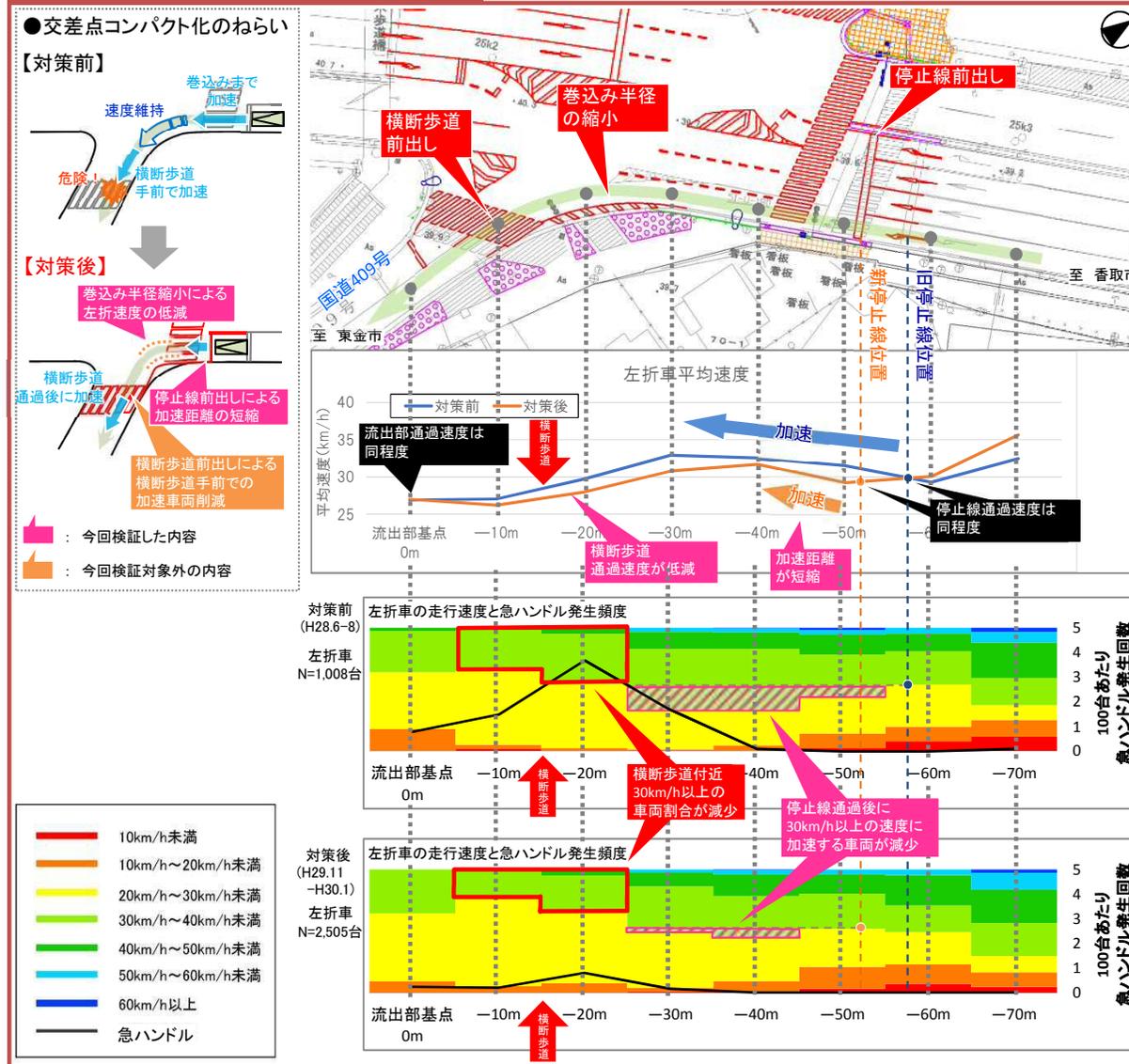
2. 対策実施区間のフォローアップ結果 ③対策工種別の対策効果

【参考】対策工種別の対策設置の考え方と効果(ETC2.0データを用いた早期対策評価分析) | B. 交差点コンパクト化

- 事故件数による評価に比べ早期の評価が可能なETC2.0データにより、対策方針の妥当性確認を行った。
- ETC2.0の挙動データにより、「**交差点コンパクト化**」について、対策前後での挙動変化を確認。
- 「**交差点コンパクト化**」の対象箇所において、①左折速度の低減、②停止線手前の急ブレーキ減少を確認。

【モデルケース：国道51号 並木交差点】

① 巻き込み事故対策としての効果 | 左折速度の低減



3. 事故危険区間の更新について

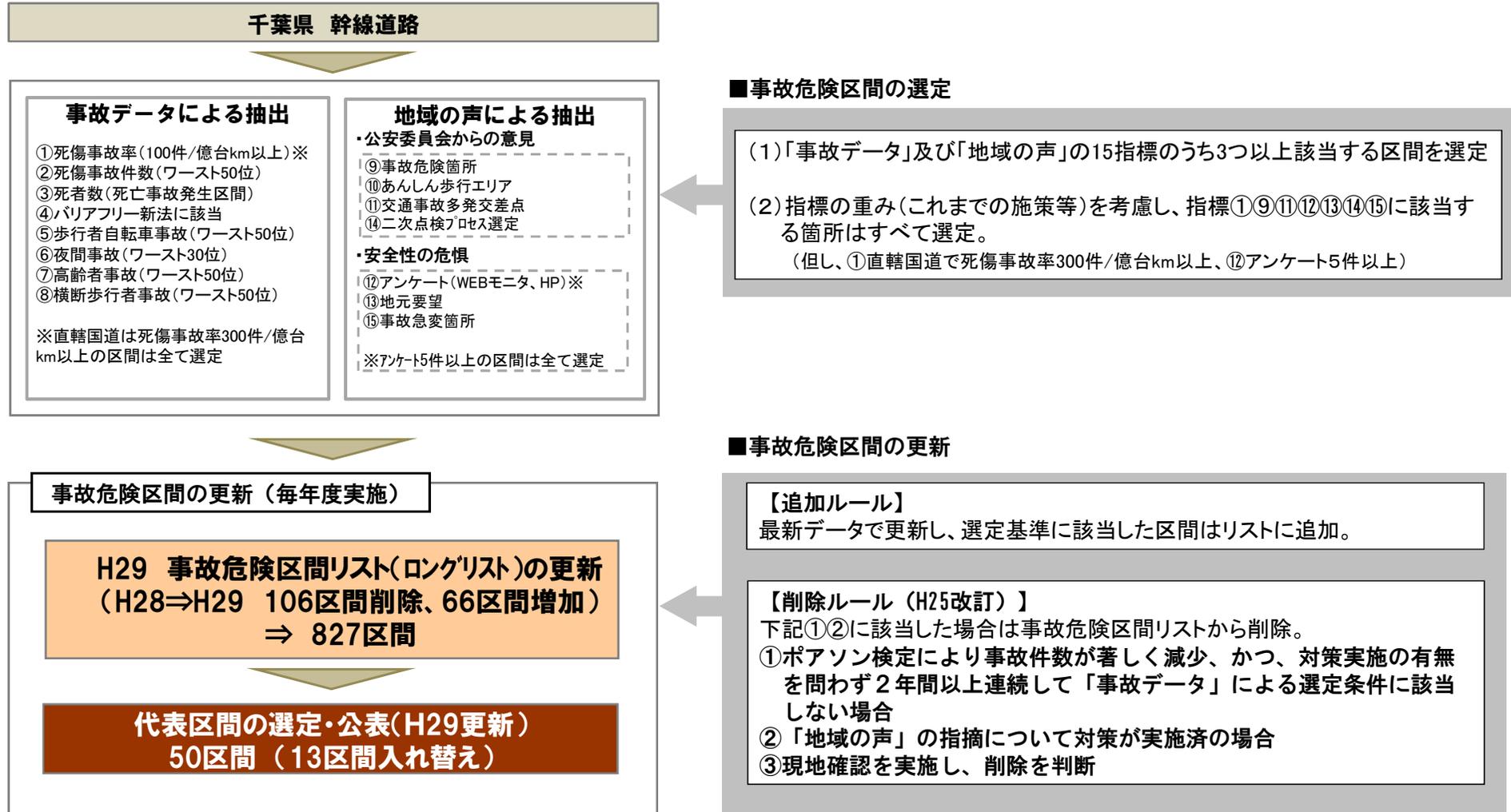
- ① 事故危険区間リストの更新
- ② 代表区間の更新

3. 事故危険区間の更新について ① 事故危険区間リストの更新

H29事故危険区間リストの振り返り

- 千葉県内の国、県、政令市が管理する幹線道路を対象に、「事故データ」及び「地域の声」により交通安全上課題がある箇所を抽出するため、15の抽出指標及び基準を設定。
- 抽出指標の該当数及び重みを考慮し、事故危険区間としてリスト化し、要対策箇所と位置付け。
- 沿道状況や道路整備による事故発生状況の変化に対応するため、毎年、「事故データ」及び「地域の声」で選定区間を更新する仕組みを設定。

■事故危険区間の選定・更新フロー



3. 事故危険区間の更新について ① 事故危険区間リストの更新

H29削除区間の決定

- 平成29年度第1回委員会で承認された平成29年度削除区間候補の73区間について、現地調査を実施した上で61区間の削除を決定。
- 平成29年事故危険区間リストから61区間削除し、平成30年事故危険区間リストを更新。

■H28削除候補区間の削除決定の流れ

H29安全性向上プロジェクト委員会において、H29事故危険区間(827区間)のうち、**削除候補区間73区間**を選定

H29年度に削除候補区間 73区間の**現地踏査を実施**

現地踏査より判断し**61区間の削除を決定**
※削除候補区間と一体と考えられる隣接区間も合わせて削除

H29事故危険区間リストから**61区間を削除**し、H30事故危険区間**リストを更新**

現地踏査の実施概要

対策前後における、事故発生要因となり得る沿道状況や道路ネットワークの変化を現地で確認。

<現地踏査の視点>

- ・対策実施状況
- ・交通状況
- ・沿道環境状況
- ・事故発生状況 等

(現地踏査の状況)



■H29削除区間一覧 (61区間)

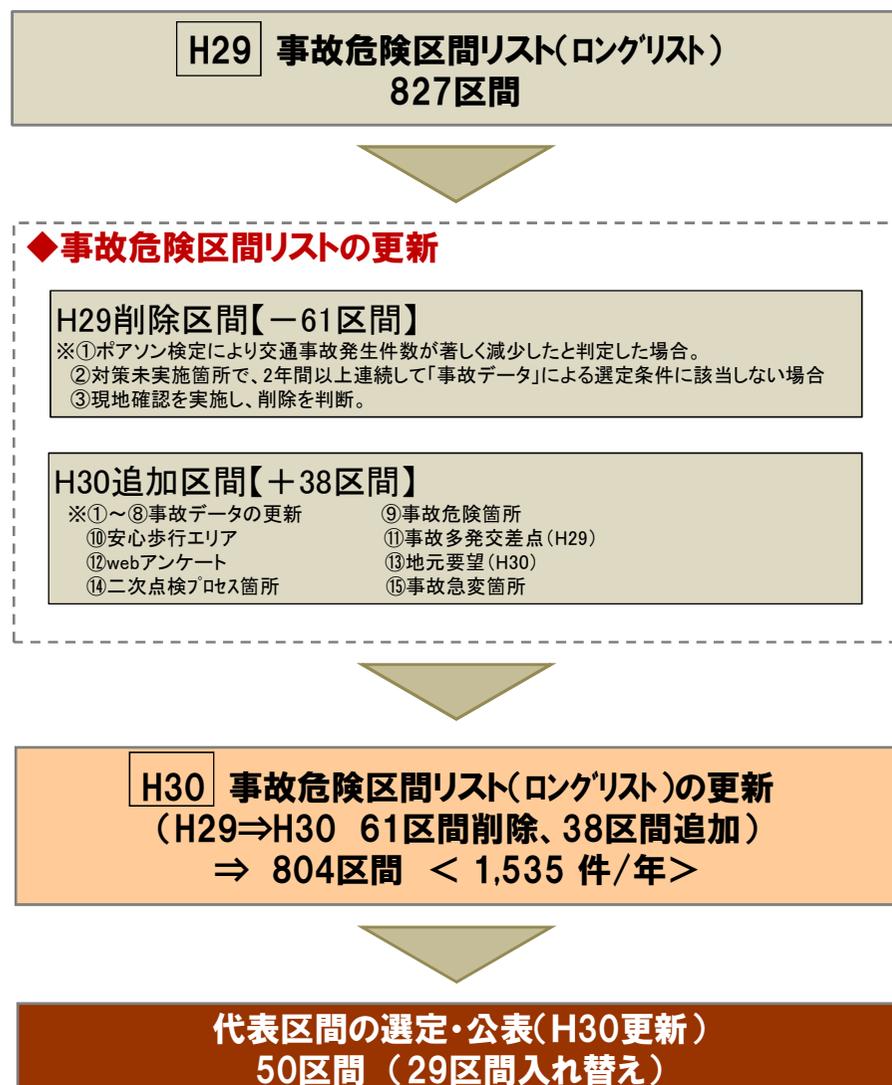
連番	管理者	道路種別	路線番号	箇所名	備考
1	直轄	国道	6	柏市呼塚新田～堀之内新田	
2	直轄	国道	6	柏市呼塚新田～堀之内新田	
3	直轄	国道	6	柏市呼塚新田～堀之内新田	
4	直轄	国道	6	柏市呼塚新田～堀之内新田	
5	直轄	国道	6	松戸市上本郷(上本郷交差点)	
6	直轄	国道	14	千葉市美浜区幕張西(幕張陸橋下(西)付近)	
7	直轄	国道	14	千葉市美浜区幕張西(幕張1丁目交差点)	
8	直轄	国道	14	千葉市花見川区幕張町(幕張5丁目交差点)	
9	直轄	国道	16	八千代市勝田台南(仮称)下市場南交差点	
10	直轄	国道	16	野田市船形(船形南交差点)	
11	直轄	国道	16	柏市大島田(仮称)社会福祉センター入口交差点	
12	直轄	国道	16	柏市藤ヶ谷((仮称)沼南体育館前交差点)	
13	直轄	国道	51	四街道市吉岡(吉岡十字路交差点)	
14	直轄	国道	51	印旛郡酒々井町上本佐倉付近(成城台南口交差点)	
15	直轄	国道	51	印旛郡酒々井町上岩橋((仮称)ローソン前交差点)	
16	直轄	国道	51	印旛郡酒々井町伊篠((仮称)伊篠交差点)	
17	直轄	国道	51	成田市花崎町(成田市役所下交差点)	
18	直轄	国道	126	千葉市若葉区中田町(中田交差点)	
19	直轄	国道	127	((仮称)南房総市富山公民館入口交差点)	
20	直轄	国道	127	富津市鶴岡(富津中央IC入口交差点)	
21	直轄	国道	357	千葉市中央区塩田町(蘇我陸橋南交差点)	
22	直轄	国道	357	千葉市中央区塩田町(蘇我陸橋南交差点)	
23	直轄	国道	357	千葉市中央区塩田町(蘇我陸橋南交差点)	
24	直轄	国道	357	千葉市中央区塩田町(蘇我陸橋南交差点)	
25	県	国道	14	市川市市川2-16-1(市川広小路交差点)	
26	県	国道	14	市川市新田1丁目19-18	
27	県	国道	14	市川市八幡1-4-18(市川インター入口交差点)	
28	県	国道	14	船橋市東中山1丁目9-8	
29	県	国道	14	船橋市西船5丁目22-16	
30	県	国道	14	習志野市鷺沼1丁目17-11番地(鷺沼町一)	
31	県	国道	126	千葉県東金市田間587-1	
32	県	国道	297	市原市八幡3番地の10先(八幡交差点)	
33	県	国道	409	袖ヶ浦市横田459	
34	県	国道	464	成田市飯田町90-1	
35	県	国道	465	富津市岩瀬872番地～富津市小久保2852番地	
36	県	主地道	6	市川市東大和田1丁目24-23～1丁目25-13	
37	県	主地道	7	野田市目吹1896-1(目吹交差点西)	
38	県	主地道	8	鎌ヶ谷市粟野610-5番地～鎌ヶ谷市南佐津間1-23番地	
39	県	主地道	13	市原市畑木137-4	
40	県	主地道	30	匝瑳市新堀1464-552～堀川6684-21	
41	県	主地道	57	鎌ヶ谷市南初富6丁目5-50番地～鎌ヶ谷市南初富6丁目5-17番地	
42	県	主地道	57	鎌ヶ谷市くぬぎ山5丁目9-54番地～松戸市五香六実17番地	
43	県	県道	166	木更津市真里107番地	
44	県	県道	180	松戸市秋山259～松戸市秋山169-1	
45	県	県道	244	鎌子市天王台10195-1番地(犬吠崎入口)	
46	県	県道	253	香取市香取(香取交差点)	
47	県	県道	277	八街市八街	
48	県	県道	281	松戸市稔台6丁目1-1(稔台)	
49	県	県道	288	船橋市金杉5丁目10-10番地～金杉6丁目3-3番地	
50	県	県道	293	茂原市三ヶ谷1754(三ヶ谷交差点)	
51	指定市	国道	126	千葉市中央区榑森3-1-1(千葉公園駅前交差点)	
52	指定市	国道	126	千葉市稲毛区作草部2-1(作草部駅前交差点)	
53	指定市	主地道	14	千葉市緑区古市場町(印刷団地交差点)	
54	指定市	主地道	20	千葉市緑区菅田2丁目(菅田インター交差点)	
55	指定市	主地道	64	千葉市稲毛区小深66付近	
56	指定市	市道	36	千葉市中央区東千葉1丁目13-1付近	
57	直轄	国道	6	柏市呼塚陸橋付近	隣接区間
58	直轄	国道	14	千葉市中央区登戸	隣接区間
59	直轄	国道	16	白井市根付近	隣接区間
60	直轄	国道	51	成田市不動ヶ岡	隣接区間
61	直轄	国道	127	木更津市桜井新町1丁目付近	隣接区間

3. 事故危険区間の更新について ① 事故危険区間リストの更新

H30事故危険区間リストの更新

・事故危険区間リスト更新の結果、削除区間は61区間、追加区間は38区間となり、事故危険区間は804区間となった。

■事故危険区間リストの更新フロー



※ 1,535<件/年>は最新(H25-28)の年平均死傷事故件数
※代表区間とは事故危険区間のうち課題が大きくかつ高い効果が期待される等主な区間

■事故危険区間リストの更新結果

	千葉国道	千葉県	千葉市	計
H29事故危険区間	322	381	124	827
H29削除区間	-29	-26	-6	-61
H30追加区間	+10	+23	+5	+38
H30事故危険区間	303	378	123	804
うち代表区間	28	16	6	50

■H30追加区間における選定指標の内訳

指標	道路管理者			計
	千葉国道事務所	千葉県	千葉市	
①死傷事故率(H25-H28)	5	16	5	26
②死傷事故件数(H25-H28)	1	0	1	2
③死者数(H25-H28)	3	2	1	6
④バリアフリー新法(過年度)	0	0	0	0
⑤歩行者自転車事故(H25-H28)	0	1	0	1
⑥夜間事故(H25-H28)	1	0	0	1
⑦高齢者事故(H25-H28)	0	3	2	5
⑧横断歩行者事故(H25-H28)	0	1	0	1
⑨事故危険箇所(H20・H25・H28)	1	0	0	1
⑩あんしん歩行エリア(過年度)	0	0	0	0
⑪事故多発交差点(H29)	1	20	3	24
⑫WEBアンケート(H29)	0	0	0	0
⑬地元要望(H30)	4	0	0	4
⑭二次点検プロセス(H25)	0	0	0	0
⑮事故急変箇所	0	0	0	0

※更新内容で重複して該当する区間あり
※来年度アンケートの収集方法の変更予定

3. 事故危険区間の更新について ① 事故危険区間リストの更新

H30削除候補区間の選定

■削除候補区間の選定過程

指標	道路管理者			計	
	千葉 国道 事務所	千葉県	千葉市		
①H29削除候補(H30残留区間)、 H30追加区間を除外した区間	277	354	118	749	
②上記①のうち、事故データの選定 基準を2年連続で下回る区間	189	321	102	612	
③上記①のうち、事故件数が減少 した区間(ボワソン検定)	77	91	31	199	
④偶発事故(4年に1件以下)	11	24	22	57	
⑤上記②かつ③または④ に該当した区間	57	95	41	193	
⑥地域の声	⑤のうち、 「地域の声」に 該当しない	7	9	2	18
	⑤のうち、 「地域の声」に 該当し対策済	24	18	2	44
削除候補区間 (上記⑥の合計)	31	27	4	62	

削除候補区間：62区間

■H30削除候補区間の選定結果(62区間)

連番	管理者	道路種別	路線番号	箇所名	備考
1	国	国道	6	松戸市松戸(陣ヶ前交差点)	
2	国	国道	6	松戸市南花島4(南花島交差点)	
3	国	国道	6	松戸市北松戸(北松戸交差点含む)	
4	国	国道	6	松戸市馬橋(馬橋駅入口交差点)	
5	国	国道	6	松戸市馬橋(八ヶ崎交差点)	
6	国	国道	6	柏市南柏(南柏駅西口交差点)	
7	国	国道	6	我孫子市台田(台田交差点)	
8	国	国道	14	((仮称)花見公園前交差点)	
9	国	国道	14	千葉市中央区登戸(登戸4丁目交差点)	
10	国	国道	16	八千代市勝田台南((仮称)下市場南交差点)	
11	国	国道	16	野田市吉春(市道北部158号線付近交差点)	
12	国	国道	16	柏市松ヶ崎(柏警察署入口交差点)	
13	国	国道	16	柏市柏	
14	国	国道	16	八千代市村上(村上交差点)	
15	国	国道	16	花見川区大日町((仮称)県立千葉特別支援学校入口交差点)	
16	国	国道	16	千葉市稲毛区長沼町((仮称)長沼歩道橋交差点)	
17	国	国道	16	千葉市稲毛区園生町(仮称)萩台入口交差点)	
18	国	国道	16	市原市五井海岸(市役所入口交差点)	
19	国	国道	16	木更津市太田((仮称)太田高架橋下交差点)	
20	国	国道	16	千葉市若葉区貝塚(貝塚交差点)	
21	国	国道	16	千葉市稲毛区作草部町(作草部町交差点)	
22	国	国道	51	印旛郡酒々井町上本佐倉(上本佐倉交差点)	
23	国	国道	51	印旛郡酒々井町伊篠(千葉日野酒々井サービス付近)	
24	国	国道	51	千葉県千葉市若葉区貝塚町	
25	国	国道	127	館山市湊((仮称)館山湊交差点)	
26	国	国道	127	君津市小山野((仮称)小松橋付近交差点)	
27	国	国道	127	郡交差点	
28	国	国道	357	船橋市浜町(浜町2丁目交差点)	
29	国	国道	357	千葉市中央区寒川町((仮称)寒川大橋交差点)	
30	国	国道	357	千葉市中央区浜野町(茂原街道入口交差点)	
31	県	国道	14	船橋市海神6丁目	
32	県	国道	126	匝瑳市八日市場イ福富町112番地(福富交差点)	
33	県	国道	128	鴨川市横渚287-1	
34	県	国道	128	茂原市高師1700-1番地	
35	県	国道	356	香取市森戸346-1番地~森戸1091-1番地	
36	県	国道	409	八街市文違301~八街市文違301-878(マルヘイ八街店付近)	
37	県	国道	464	鎌ヶ谷市くぬぎ山(くぬぎ山交差点)	
38	県	主地道	5	松戸市古ヶ崎2丁目(古ヶ崎交差点)	
39	県	主地道	7	千葉県柏市布施814-14~千葉県柏市根戸475-8	
40	県	主地道	8	鎌ヶ谷市南佐津間6-30番地~鎌ヶ谷市南佐津間12-55番地	
41	県	主地道	13	市原市姉崎2389-1番地~姉崎2568-6番地(青葉台入口交差点付近)	
42	県	主地道	24	市原市姉崎2019~2065	
43	県	主地道	30	九十九里町片貝6928番地~九十九里町片貝6928番地(消防機庫)	
44	県	主地道	35	旭市ハ1412	
45	県	主地道	47	柏市松葉町	
46	県	主地道	50	市川市相之川2丁目14-15番地	
47	県	主地道	51	松戸市高塚新田	
48	県	主地道	51	松戸市紙敷	
49	県	主地道	51	松戸市紙敷	
50	県	主地道	57	鎌ヶ谷市東初富(丸山1丁目交差点)	
51	県	主地道	58	山武市蓮沼ハ421番地	
52	県	主地道	59	鎌ヶ谷市鎌ヶ谷3-2-37~1-5-36	
53	県	主地道	76	八街市大関25~八街市八街ろ	
54	県	県道	119	千葉県東金市松之郷3190-5~千葉県東金市松之郷1345-37	
55	県	県道	261	柏市今谷上町45番地先(南柏中央第一公園南交差点)	
56	県	県道	264	市川市菅野	
57	県	県道	287	袖ヶ浦市蔵波2010-2(蔵波台入口交差点)	
58	市	主地道	20	千葉市緑区菅田2丁目(菅田インター交差点)	
59	市	県道	217	千葉市中央区本千葉町12付近	
60	市	市道	36	千葉市若葉区東寺山町(東寺山)	
61	市	市道	43	千葉市緑区(平山大橋交差点)	
62	国	国道	127	館山市湊((仮称)館山湊交差点)	※隣接区間

3. 事故危険区間の更新について ② 代表区間の更新

代表区間の更新

- ・H29代表区間において、29区間の対策工事が完了。
- ・事故危険区間リストを更新した結果、交通安全対策が必要な区間について、新たに代表区間※として29区間を追加。
- ・H30年度の新たな代表区間として50区間を選定。

※代表区間とは、事故危険区間のうち、課題が大きく、かつ、高い効果が期待される等主な区間

■新たな代表区間リスト

H29代表区間 (50区間)

対策状況	No	路線名	対象区間(地先名)	交差点名	管理者
継続	1	国道6号	松戸市松戸	松戸陸連交差点	国
継続	2	国道14号	千葉市美浜区幸町2丁目	(仮称)幸町2丁目付近交差点	国
継続	3	国道16号	木更津市清田	(仮称)清田西交差点	国
継続	4	国道16号	千葉市中央区村田町	浜野瀬西側交差点	国
継続	5	国道16号	富津市大堀	大堀亀下交差点	国
継続	6	国道16号	千葉市花見川区横戸町1178	(仮称)横戸町馬橋付近交差点	国
継続	7	国道51号	成田市花崎町	京成成田駅入口交差点	国
継続	8	国道127号	安原郡網野町藤山	・横路部	国
継続	9	国道409号	木更津市中央	(仮称)倉田中付近交差点	国
継続	10	国道128号	茂原市高部1700-1番地		県
継続	11	国道409号	八街市八街31	一區交差点	県
継続	12	主要地方道 我孫子園宿線	柏市池914-14~柏市根戸475-8		県
継続	13	主要地方道 船橋我孫子線	我孫子市若松20-3番地	我孫子市若松交差点	県
継続	14	主要地方道 船橋谷松戸線	松戸市五香2-2-11~2-16-1		県
継続	15	一般県道 四街道上志津線	佐倉市上志津		県
継続	16	主要地方道 千葉大網線	千葉市緑区菅田2丁目	菅田インター交差点	市
継続	17	主要地方道 千葉大網線	千葉市緑区土気町	土気駅北口交差点	市
継続	18	主要地方道 千葉大網線	千葉市緑区越智町	越智はなみずき台入口交差点	市
継続	19	市道 塩田町菅田町線	千葉市中央区生実町	生実池交差点	市
継続	20	市道 東寺山町山王町線	千葉市稲毛区長沼原町	遠近五差路	市
継続	21	主要地方道 千葉川上八街線	千葉市若葉区金網町	金網町交差点	市
完了	1	国道6号	松戸市松戸	陣ヶ前交差点	国
完了	2	国道6号	流山市松ヶ丘3丁目305-8~1丁目455-50		国
完了	3	国道6号	松戸市胡録台		国
完了	4	国道6号	松戸市南花島2丁目32		国
完了	5	国道6号	我孫子市青山872		国
完了	6	国道6号	我孫子市台田	台田交差点	国
完了	7	国道16号	柏市松ヶ崎	柏警察署入口交差点	国
完了	8	国道16号	袖ヶ浦市神納	袖ヶ浦インター入口	国
完了	9	国道16号	千葉市若葉区加曾利町	加曾利交差点	国
完了	10	国道16号	八千代市村上	村上交差点	国
完了	11	国道16号	千葉市中央区星久喜町	星久喜交差点	国
完了	12	国道16号	八千代市島田台	島田台交差点	国
完了	13	国道16号	君津市坂田	大和田交差点	国
完了	14	国道16号	柏市藤ヶ谷新田21	(仮称)藤ヶ谷新田地区交差点	国
完了	15	国道51号	印旛郡清々井町伊機		国
完了	16	国道51号	千葉市中央区本町1丁目		国
完了	17	国道126号	八街市山田台	沖入口交差点	国
完了	18	国道357号	習志野市秋津	秋津交差点	国
完了	19	国道357号	千葉市中央区閑庭町2	(仮称)神明歩道橋交差点	国
完了	20	国道128号	茂原市高部台	高部交差点	県
完了	21	国道356号	香取市大戸84-5番地		県
完了	22	主要地方道 船橋松戸線	船橋市本町7丁目	船橋駅北口十字路交差点	県
完了	23	主要地方道 市原茂原線	市原市松ヶ崎708~660-1		県
完了	24	一般県道 西清安停車場線	浦安市入船1丁目1番地先	入船交差点	県
完了	25	国道126号	匝波市八日市場木74番地~木102番地		県
完了	26	国道356号	鎌子市戸崎町23-2番地~戸崎90		県
完了	27	主要地方道 佐原八日市場線	香取市助成706番地		県
完了	28	主要地方道 五井本納線	市原市辰巴台東5丁目-11		県
完了	29	一般県道 茂原環状線	茂原市谷本		県

昨年度

H29代表区間 (50区間) を公表

意見

千葉県安全性向上
プロジェクト委員会

今年度

工事完了
箇所
29区間
※H31.3末の完了
予定箇所含む

対策立案・
調整中箇所
21区間

事故危険区間
リストの更新

意見

新たに
29区間
を追加

H30新規追加 (29区間)

対策状況	No	路線名	対象区間(地先名)	交差点名	管理者
追加	22	国道6号	流山市前ヶ崎649~621-7	・横路部	国
追加	23	国道6号	流山市名都借	名都借交差点	国
追加	24	国道6号	柏市新富町1丁目1-11~吉野沢1	・横路部	国
追加	25	国道6号	柏市吉野沢3-5~旭町5-3-37	・横路部	国
追加	26	国道6号	柏市旭町	旭町交番前交差点	国
追加	27	国道6号	柏市東広町	(仮称)東広町1交差点	国
追加	28	国道14号	千葉市中央区巻戸	巻戸交差点	国
追加	29	国道16号	柏市柏	旧水戸街道入口交差点	国
追加	30	国道16号	柏市柏	桜台交差点	国
追加	31	国道16号	柏市柏	・横路部	国
追加	32	国道16号	八千代市下市場	下市場交差点	国
追加	33	国道16号	市原市八幡海岸通	市原埠頭入口交差点	国
追加	34	国道16号	市原市八幡海岸通	(仮称)稲崎台通り交差点	国
追加	35	国道16号	市原市千鶴海岸	(仮称)千鶴海岸付近交差点	国
追加	36	国道16号	袖ヶ浦市神納	神納交差点	国
追加	37	国道16号	木更津市清見台	(仮称)太田歩道橋付近交差点	国
追加	38	国道127号	君津市南子安	(仮称)内みのお運動公園入口交差点	国
追加	39	国道127号	君津市南子安	八重原交差点	国
追加	40	国道357号	千葉市美浜区中瀬	中瀬交差点	国
追加	41	国道296号	富里市七栄296-1	七栄交差点	県
追加	42	国道296号	佐倉市井野	・横路部	県
追加	43	国道296号	船橋市滝台2丁目	・横路部	県
追加	44	国道356号	鎌子市松野町3丁目310		県
追加	45	国道356号	香取市佐原1264-2	寺田橋脇交差点	県
追加	46	国道356号	我孫子市天王台4丁目9-25	天王台駅入口交差点	県
追加	47	国道464号	鎌ヶ谷市北中沢	・横路部	県
追加	48	主要地方道 市原茂原線	市原市市原660-1	姉崎交差点	県
追加	49	主要地方道 千葉茂原線	市原市浦井880	千原邸入口交差点	県
追加	50	主要地方道 千葉八街横芝線	八街市八街街	・横路部	県

H30代表区間
(50区間) を公表

4. 今後の取り組み

- ① 代表区間における取組方針
- ② 生活事故の交通安全対策について

4. 今後の取り組み ①. 代表区間における取組方針(主要箇所抜粋)

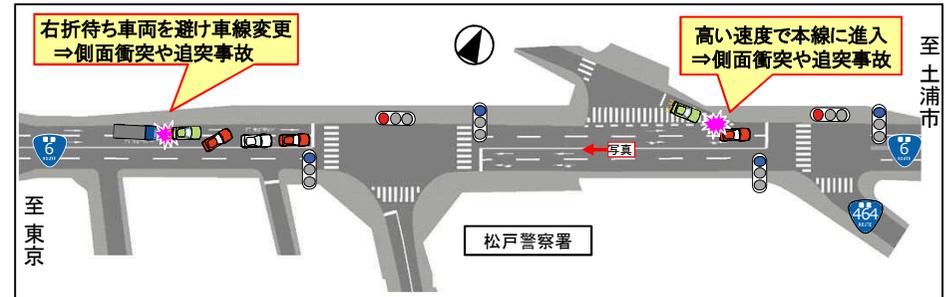


国道6号松戸警察署前交差点における対策方針



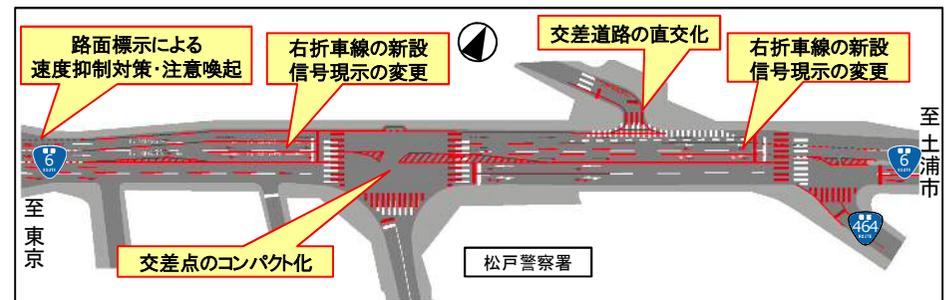
【課題】

下り線右折レーンが無いため、直右車線における右折車の滞留が直進車両の通行阻害要因となっており、直進車両が急に車線変更することによる後続車との追突事故や、交差点での急減速・急停止による追突事故が多発している。



【対策方針】

路面表示「追突注意」、減速路面表示による注意喚起及び右折車線を新設することにより事故防止を図る。また、右折車線の新設に伴い信号現示も変更する。交差道路の取り付け角度を直交化し、主従関係を明確化。



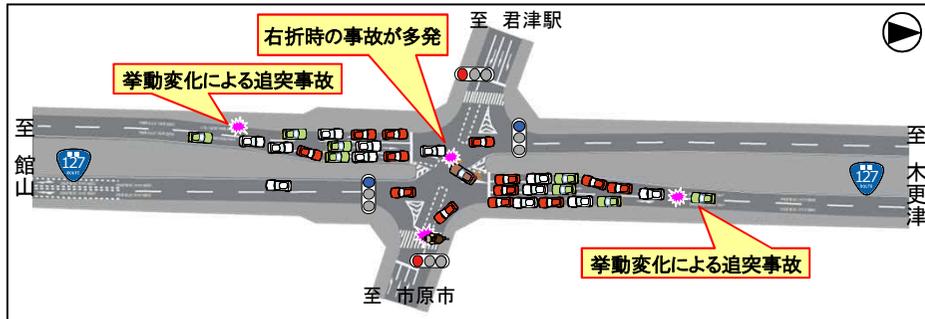
4. 今後の取り組み ①. 代表区間における取組方針(主要箇所抜粋)

国道127号八重原交差点における対策方針



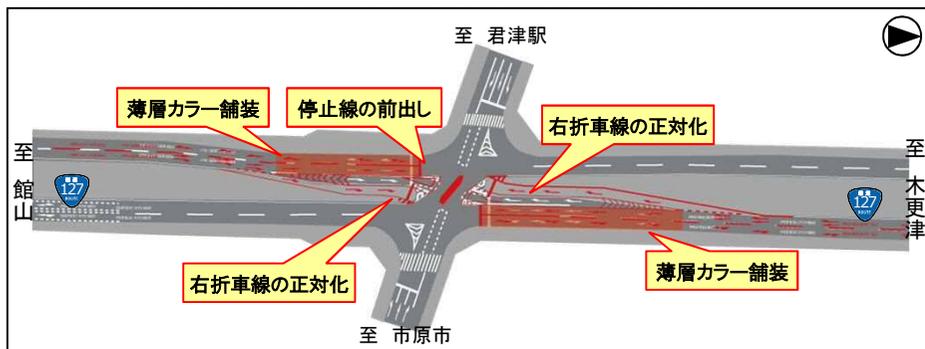
【課題】

国道127号八重原交差点は、死傷事故率170件/億キロであり、右折時及び挙動変化による追突事故が多発している。



【対策方針】

薄層カラー舗装により、追突事故防止を図る。
停止線の前出し及び右折車線の正対化により、右折事故防止を図る。

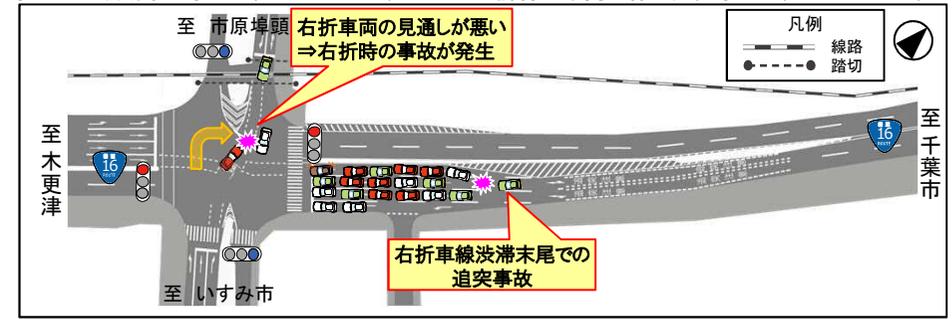


国道16号市原埠頭交差点における対策方針



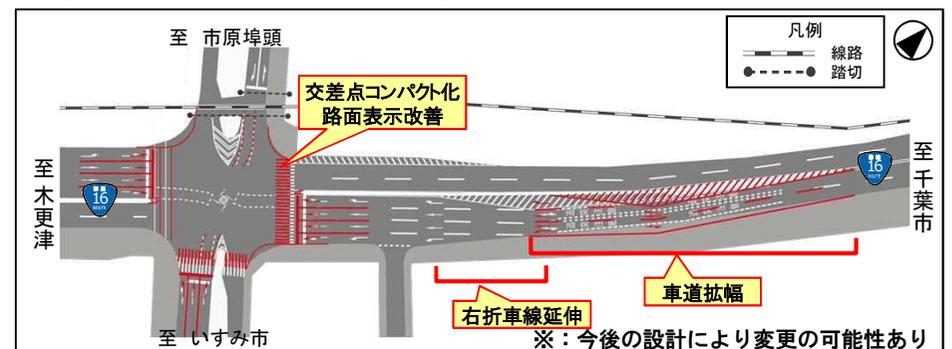
【課題】

国道16号市原埠頭入口交差点は、交差点内における右折車両の見通しが悪いため、右折事故及び横断中の事故が発生している。また、右折待ち車両に伴う追突事故も発生している。



【対策方針】

交差点のコンパクト化および路面表示の改善により右左折事故防止を図る。
車道を拡幅し、右折車線を延伸すること追突事故防止を図る。



4. 今後の取り組み ②. 生活道路の交通安全対策について

生活道路の対策エリア

- 国土交通省及び公安委員会により実施される交通規制、交通管制及び交通指導取締りと連携し、ハンブや狭窄等の物理的デバイスの設置等、道路管理者として生活道路のゾーン対策や区間対策を実施する「対策エリア」を登録。千葉県内では、平成27年度に千葉市、船橋市、鎌ヶ谷市の4エリアを生活道路の対策エリアとして登録された。また、平成30年度には習志野市と君津市のエリアが追加登録された。
- 平成27年度に登録された4エリアについては、道路安全診断（試行）において、有識者からの助言により危険要因の抽出や対策案の検討を実施した。
- また、新たに登録された習志野市袖ヶ浦東地区については、状況把握のためのETC2.0に基づくデータ提供を行った。

(1) 対策エリアの登録

関係機関と協議を実施し、合意を得た後、対策エリアを登録依頼(平成27年12月)

登録にあたり、道路管理者が実施する交通安全対策を継続的に進めるため地域協働の推進連絡体制(通学路の交通安全確保の推進連絡体制やゾーン30における協議会等の体制を活用)を構築

千葉県内の対策エリア

- 千葉市稲毛区山王町地区
 - 船橋市習志野台地区
 - 鎌ヶ谷市中央・南初富地区
 - 船橋市習志野台8丁目地区
 - 習志野市袖ヶ浦東地区
 - 君津市泉・中島地区
- 新規追加



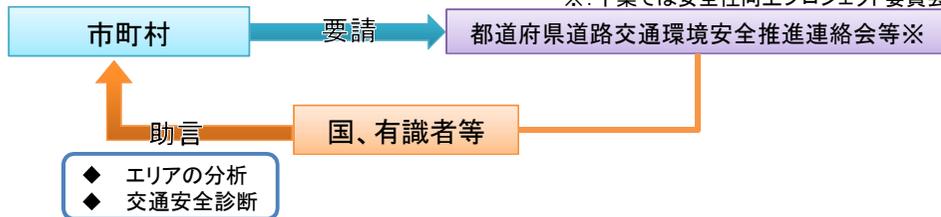
(2) 対策エリアの計画策定

- プローブ情報等を用いた対象エリアの事故箇所や速度分布、急挙動発生位置の分析結果を提供
- 有識者が集う道路安全診断にて検討テーマに取り上げて協議を実施
- 現地点検により、想定される危険事象およびその要因、対策の方向性と対策案を検討

技術的支援

- ビッグデータにより対策エリアにおける速度超過箇所・急ブレーキ多発箇所等の分析結果の提供
- 現地診断など技術的助言が可能な有識者等の紹介

※: 千葉では安全性向上プロジェクト委員会



出典: 第50回基本政策部会資料/国土交通省道路局, 2015.12.14)

【対策エリア①】千葉市稲毛区山王町地区: 危険要因の抽出、対策案の検討

ETC2.0による分析結果



【対策エリア⑤】習志野市袖ヶ浦東地区: データ提供のみ

- 袖ヶ浦東地区では、通過交通が地区内に流入している。
- また、地区内道路で高い走行速度や急制動が多発している

ETC2.0による分析



5. 道路安全診断(試行)の報告

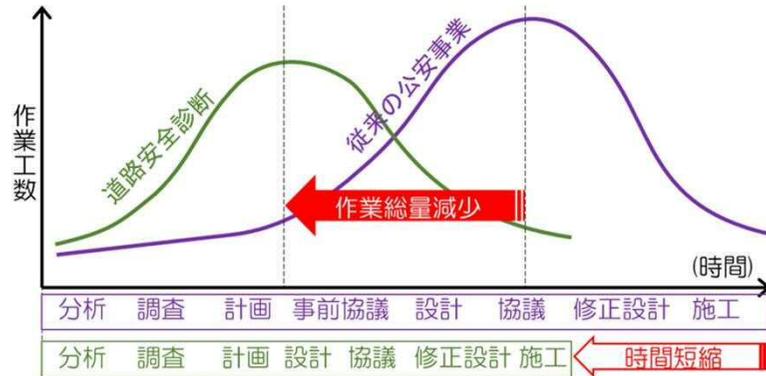
5. 道路安全診断(試行)の報告

本年度(H30)の取り組み

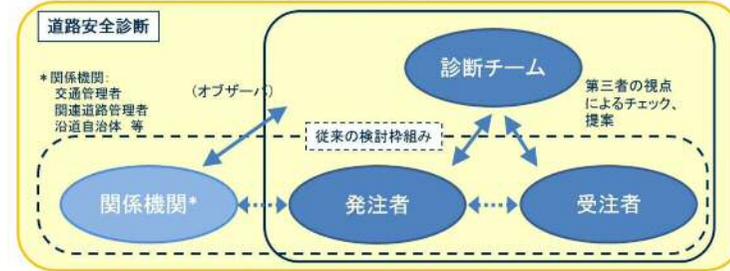
- ・ 幹線道路は複雑な形状かつ交差点が近接する千葉西警察署入口交差点を検討、生活道路は生活道路対策エリアに登録済みの千葉市山王町地区を取り組む。

■道路安全診断(試行)の理念

＜本取組がフロントローディングとなり、施工に向けた関係機関協議が円滑となり、“生産性の向上”に寄与する。＞



■道路安全診断(試行)体系的概要図



委員区分	氏名	所属等
委員長	小早川 悟	日本大学 理工学部 交通システム工学科 教授
委員	寺内 義典	国土館大学 理工学部 理工学科 教授
委員	田中 伸治	横浜国立大学 都市イノベーション研究院 准教授
委員	新倉 聡	元 神奈川県警察本部交通部 交通規制課、警察庁指導シニア広域技能指導官 公益財団法人日本道路交通情報センター 通信施設部 専門役
委員	林 祐志	TOE交通技術者
顧問	森田 紳之	日本大学 客員教授
幹事	青山 恵里	日本大学 大学院 理工学研究科 交通システム工学専攻
委員区分	組織	所属等
オブザーバー	交通管理者	千葉県 警察本部
	道路管理者	・千葉市 建設局、国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所



対象地域の位置

■本年度の実施概要

＜安全診断(試行)の実施状況(H30年度内に計5回実施)＞

	対象地域	概要	実施状況		
幹線道路	国道14号 千葉西警察署入口交差点 (千葉市)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 既往の安全対策実施後に、対策時に着目した事故が減少していない、もしくは増加している箇所、かつ主要渋滞箇所、主要渋滞箇所の近傍箇所のうち、複雑な要因により、より高度な分析・検討が想定される本箇所を選定。 ➢ 道路管理者による幾何構造対策と、交通管理者による信号現示対策の組み合わせにより段階的な対策を立案。 			
	千葉県 山王町地区	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 千葉県内の「生活道路対策エリア」4地区のうち、当該周辺の対策状況を踏まえ本箇所を選定。 ➢ ETC2.0の詳細分析等により、通過交通やエリア内の交通状況を分析し、協議により下記対策方針を助言・立案 ➢ ①外周道路の対策、②流入抑制対策、③速度抑制対策、④スポット対策 			